【解答】

問　-3，-3.5，$-\frac{1}{2}$のような0より小さい数を①　負の数　という。

①に対して，5，0.5，$\frac{3}{4}$のような0より大きい数を②　正の数　という。

「＋」のことを③　正の符号　，「－」のことを④　負の符号　という。

正の整数 1，2，3，・・・のことを，⑤　自然数　ともいう。

数直線上で，0からある数までの距離を，その数の⑥　絶対値　という。

数の大小関係を表す記号　＞，＜　を⑦　不等号　という

たし算のことを⑧　加法　，ひき算のことを⑨　減法　という。

$7-9+8$という式について，7，-9，8をこの式の⑩　項　といい，

7，8を⑪　正の項　，-9を⑫　負の項　という。

加法について，どんな場合でも次の2つの法則が成り立つ。

$2+3=3+2$　○＋□＝□＋○　これを加法の⑬　交換　法則という。

$(2+3)+4=2+(3+4)$　(○＋□)＋△＝○＋(□＋△)　これを加法の⑭　結合　法則という。

かけ算のことを⑮　乗法　，わり算のことを⑯　除法　という。

2つの数の積が1になるとき，一方の数を他方の数の⑰　逆数　という。

乗法について，どんな場合でも次の2つの法則が成り立つ。

$2\times3=3\times2$　○×□＝□×○　これを乗法の⑱　交換　法則という。

$(2\times3)\times4=2\times(3\times4)$　(○×□)×△＝○×(□×△)　これを乗法の⑲　結合　法則という。

5^2を5の2乗，5^3を5の3乗と読む。また 5^2，5^3の右上の小さな数2，3はかけあわす数5の個数を示したもので，これを⑳　指数　という。

数の加法，減法，乗法，除法をまとめて㉑　四則　という。

○，□，△がどんな数であっても，次の式が成り立つ。

$(○+□)\times△=○\times△+□\times△$

$△\times(○+□)=△\times○+△\times□$　　このきまりを㉒　分配　法則という。

ドリるーむ